丹波篠山市地域包括支援センターだより

Vol. 167 令和5年2月

☆情報掲示板☆

【 この指と~まれ 】

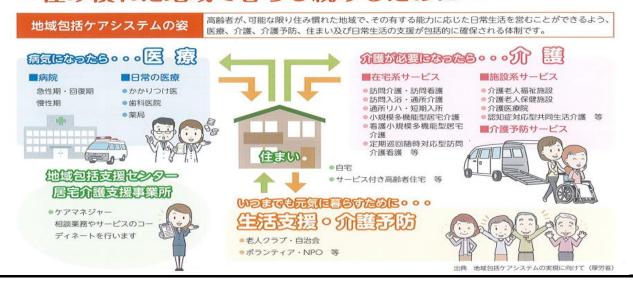
丹波篠山市では、在宅医療と介護等の連携体制の構築を目的に、多職種連携会議 「この指と~まれ」を開催しています。

「在宅医療・介護連携」では安心して自宅療養できるように、医療と介護の関係者 が連携することで、包括的かつ継続的な在宅医療および介護の提供が可能になりま す。

現在「この指と~まれ」では終末期医療・介護のあり方を年間テーマに開催されています。次回は「在宅医療での栄養ケアの必要性と実際の取り組み~ACP(※)につなぐ栄養ケア~」を予定しています。兵庫医科大学ささやま医療センターの医師を講師に招き、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員、介護サービス事業所職員などが集まり、グループワークなどを通して学びながら連携を深めます。

※ACPとはいつ訪れるかわからない人生の最終段階における医療やケアについて前もってご自身で考えたりあなたの大切な人たちと話し合ったりすることです。 (愛称:人生会議)

~ 住み慣れた地域で暮らし続けるために~



企社会福祉法人 丹波篠山市社会福祉協議会

丹波篠山市東部地域包括支援センター(担当地区:篠山・城東・多紀) 〒669-244 I 丹波篠山市日置385番地 I (城東公民館内) TEL 556-2340 FAX 556-235 I

丹波篠山市西部地域包括支援センター(担当地区:西紀・丹南・今田) 〒669-2205 丹波篠山市網掛30|番地(丹南健康福祉センター内) TEL 594-3776 FAX 590-|557



こんな相談がありました

Q. 87 歳男性の妻から相談がありました。 本人はもともと穏やかな性格だったが最

本人はもともと穏やかな性格だったが最近怒りっぽくなり、頼み事も忘れるようになった。できていないことが増えてきたなかで、家族は今後どのように接したらよいのかと思っている。認知症かどうか専門受診をしたいが、本人にどのように伝えればよいのかと悩んでおられました。

A. 認知症の専門医に直接相談できる『高齢者こころの相談』を紹介し、相談していただきました。

専門医から本人への接し方について、本 人に説得するような話をするのではなく 納得してもらうように話をすること、専 門受診については夫婦一緒に受診しては どうか助言がありました。後日夫婦一緒 に受診され、安心されていました。

今月の耳寄り情報

~高齢者こころの相談~

もの忘れがある様子だが、病院に行くことが不安、認知症のある家族への介護や接し方に悩んでいる、介護に抵抗があり接し方が難しいなど、ご本人や家族、支援者に対して毎月 I 回認知症の専門医と専門相談員による相談会を実施しています。状況により訪問対応も可能です。

◎相談スタッフ

兵庫県丹波認知症疾患医療センター長 福井辰彦医師

相談員(看護師、社会福祉士)

◎相談日 (毎月開催中)

2月24日(金) | 3:30~|6:30 3月24日(金) | 5:00~|7:00

場所:丹波篠山市民センター 研修室

【問い合わせ先】*相談は予約制となります

丹波篠山市役所長寿福祉課高齢支援係

(もの忘れ相談センター)

電話番号:079-552-5346

★今月の認知症カフェだより★

	とき	ところ	内 容	問い合わせ先
ホッと・ひといきカ フ ェ	2月13日(月) 3月13日(月) (第2月曜日) 13:30~	城下まち会館		D. 沙袋 1. 去 20 元
たきたきカフェ	2月 15日(水) 3月 15日(水) (第3水曜日) 10:00~	旧保健センター (東雲診療所隣)	認知症介護で悩ん	丹波篠山市役所 長寿福祉課 高齢支援係 TEL552-5346
りんごカフェ	2月8日(水) 3月8日(水) (第2水曜日) 14:00~	西紀老人福祉センター	でいる人が認知が に関心がある人が 気軽に立ち寄れる スペース	東部地域包括支援センター TEL 5 5 6 - 2 3 4 0
カフェやすらぎ	2月15日(水) 3月15日(水) (第3水曜日) 13:30~	古市コミュニティ 消防センター		西部地域包括支援センター TEL 5 9 4 - 3 7 7 6
かやのみカフェ	3月26日(日) (奇数月第4日曜日) 10:00~	日置ほっと ステーション		